

まさよ通信

やる気!
で行動
元気!
は取り柄
勇氣!
を持って挑みます!!



郡上市議会議員 田代 まさよ 2023年 4月 No.11

議会は市民の思いが反映される場所

日頃から防災対策を強化 コミュニケーションを大切に
笑顔が見える支え合い お互いに見守り支える仕組み
健康を守り応援するまち 健診・検診を推進

3月の定例会が終了しました。予算特別委員会において令和5年度の予算案を審査しましたが、新型コロナウイルス感染症が5月に2類から5類に移行する事もあり、新たな事業が増えています。令和5年度も有意義な予算執行ができるよう評価・監視をしてまいります。また、3年間という長い間マスクの生活をしてきましたが、個人の判断でマスクの着用が自由になりました。マスクをつける・つけないで差別をしない社会をめざします。しかし、コロナウイルスがなくなった訳ではありません、引き続き感染対策をお願いします。

令和5年 第1回定例会報告

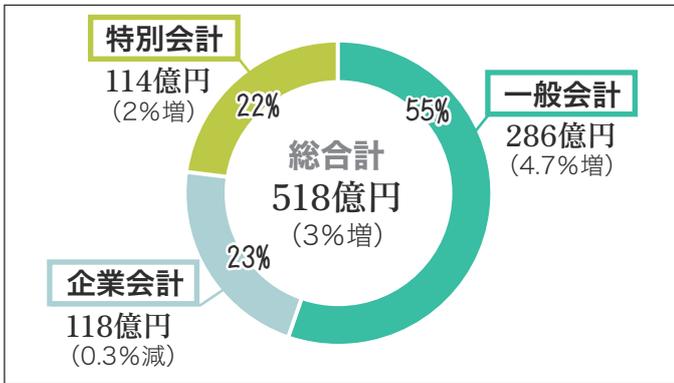
2月24日～3月24日

専決議案 / 人事案件 / 条例の制定・一部改正 / 令和4年度補正予算議案

令和5年度当初予算議案などの他を含め53議案 / 請願1件 / 議発条例の制定1件を可決

令和5年度当初予算

(前年度比)



請願 1件 (賛成少数で不採択)

安保関連三文書及び軍拡のための増税案の撤回を求める意見書を求める請願

議発条例の制定

郡上市議会の個人情報の保護に関する条例の制定

市が令和5年3月に策定した計画

- 郡上市地域公共交通計画
- 郡上市食品ロス削減推進計画
- 郡上市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)

詳細は、郡上市Webサイトをご確認ください。

私の活動報告

1月 JANUARY

- 5日 郡上市消防出初式
- 6日 長滝神社 六日祭り
- 8日 二十歳を祝う会
- 10・16日 広報広聴特別委員会
- 19日 美並方面隊意見交換会
- 23・24日 JAIM研修(リモート)
- 26日 防災士役員会

3月 MARCH

- 7日 白鳥中卒業式
- 10日 八幡方面隊意見交換会
- 23日 牛道小卒業式
- 24日 定例会閉会
- 24日 防災士総会
- 26日 中西三輪神社春祭り



消防出初式



長滝神社 六日祭り

2月 FEBRUARY

- 1日 郡上北高等学校運営協議会
- 2・13日 商工会女性部交流会 他
- 3日 小日向望さん市長表敬訪問
- 9・21日 総務常任委員会協議会
- 14日 郡上市食育会議
- 15・28日 広報広聴特別委員会
- 16日 牛道小学校玉田先生講演会
- 19日 郡上市教育フォーラム
- 20日 全員協議会
- 24日 定例会開会(～3月24日)
- 27日 郡上市生活安全協議会



牛道小学校 卒業式



教育フォーラム

3月定例会 私の質問と市の答弁

ヤングケアラーについて

質問 ヤングケアラーの現状と自分から助けを求めづらい環境にある子どもたちの権利や生活を守るためにも調査を実施し支援策を進めてほしい、**支援策に向けた取り組み**は

答弁 田口健康福祉部長

現段階でヤングケアラーに**該当すると思われる事例が6件**ある。障害福祉サービスを所管とする社会福祉課のケースと介護保険サービスを所管とする高齢福祉課のケースで2件。小中学校を所管とする学校教育課のケースで4件。いずれも**学校、行政関係機関により対応し支援を継続中**である。

国では地域の実情を調査・把握する事を推奨している。適切な支援を実施していくためには、より実効性のある実態把握方法を検討し実施していきたい。今年4月には、「子ども家庭庁」が発足する。市でも組織統合して「**こども家庭センター**」として設置することが目標となっている。このことによりすべての妊婦、子育て世帯、子どもに対して、相談や支援を行える機関となる。ヤングケアラーの早期発見と適切な支援ができる組織としていきたい。

ヤングケアラーに対する認知度はまだ低いと思われる。早期発見やヤングケアラーの防止のためには、**市民周知が必要**。令和5年度から実施する「重層的支援体制整備のための移行準備事業」において、ヤングケアラーの定義と支援の必要性について各機関、団体の共通認識の醸成、多機関連携による支援体制強化を図る。

田代 まさよ

「もしかしてヤングケアラーかも知れない」ということを周囲が配慮しながら見守っていただける様ご協力をお願いしたい。

マイナンバーカードについて

質問 現在のマイナンバーカードの申請率は。また、カードを持たない人や、カードを申請したいと考えているができない人への対応は

答弁 加藤総務部長

市の**2月末現在の申請率は74.22%**、交付率は64.8%。昨年8月末現在の申請率は44.3%だったので、6か月で30%と大幅な伸びを見せている。2月末の全国平均申請率は72.55%、交付率63.5%で全国平均を上回っている。

カードを持たない方への対応については、「**資格確認書**」で保険診療等を受けることができる。身体的理由などで、取得したくても取得できない方もあると思われるため、**申請を希望している方が一定数ある団体等**に出向いて、**申請の支援**を行う。

カードは申請できたが受け取りのために来庁できない方には、国の定めた要件に該当されるのか判断させていただき、**代理人による受取が可能**な場合もあるので、市民課に相談頂きたい。取得したい方には、**不便のないように寄り添った対応**を図る。

質問 マイナンバーカードで自治体独自のサービスを行っている自治体もある。**市の今後の利用対策**は

答弁 加藤総務部長

マイナンバーカードの活用方法は、健康保険証・所得税申告等の他、市独自利用として、10月25日からコンビニでの住民票等写しの交付サービスを開始している。国が活用する場合は市の費用負担は生じないと思われるが、独自の利用の場合は、**費用対価について検討**する必要があると考える。現時点でどのような取り組みを行っているのかについてはお答えできないが、カードの活用が進むように、**国の動向や先進自治体の取り組み**に注視し、関係各課とも連携して研究を進めていきたい。

